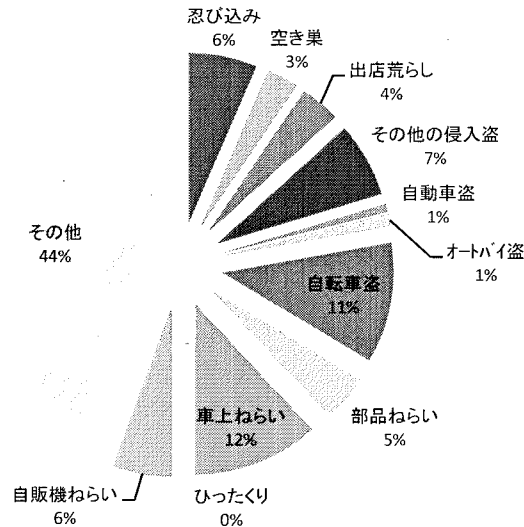


海津警察署管内犯罪発生状況

平成21年 発生件数	侵入犯罪				街頭犯罪							その他	全認知件数
	忍び込み	空き巣	出店荒らし	その他の侵入盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	部品ねらい	車上ねらい	ひったくり	自販機ねらい		
	34	16	20	38	4	6	61	24	63	0	30	236	532

(単位:件)

平成21年中 犯罪発生状況(海津署管内)



平成21年中の海津警察署管内において認知した刑法犯(全532件)のうち、侵入犯罪、街頭犯罪で約6割を占めた。

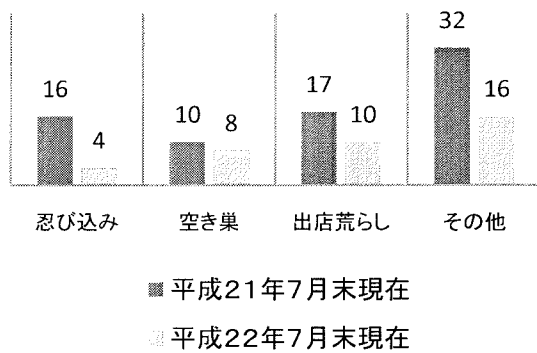
侵入犯罪については、忍び込み被害が34件で全侵入犯罪(108件)の約3割を占め、無施錠の勝手口から侵入され、金品を盗まれる被害が多発した。

街頭犯罪(7種)については、自転車盗が61件、車上ねらいが63件発生し、全街頭犯罪(188件)の6割強を占め、次いで多く発生の自販機ねらいが30件発生した。

	侵入犯罪				合計
	忍び込み	空き巣	出店荒らし	その他	
平成21年7月末現在	16	10	17	32	75
平成22年7月末現在	4	8	10	16	38

(単位:件)

侵入犯罪(前年同期比較)



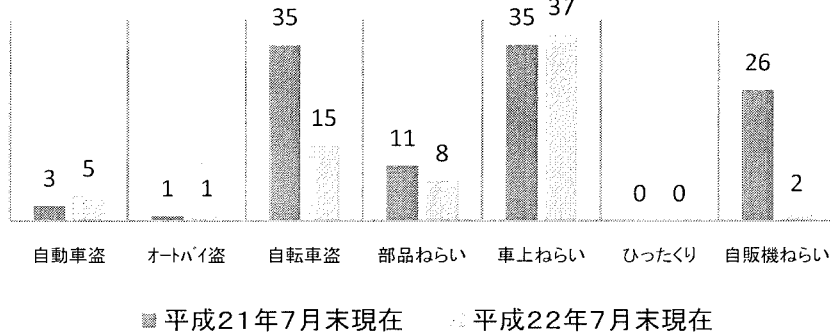
海津警察署管内発生の侵入犯罪について、平成21年と平成22年の7月末現在の発生状況を比較すると、平成21年に比べ平成22年については減少傾向が見られる。

とくに忍び込み被害の減少が大きい。これは平成21年末に、西濃地区において、忍び込み手口で犯行を繰り返していた犯人の逮捕の影響が考えられる。

	街頭犯罪							合計
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	部品ねらい	車上ねらい	ひったくり	自販機ねらい	
平成21年7月末現在	3	1	35	11	35	0	26	111
平成22年7月末現在	5	1	15	8	37	0	2	68

(単位:件)

街頭犯罪(前年同期比較)



海津警察署管内発生の街頭犯罪について、平成21年と平成22年の7月末現在の発生状況を比較すると、全発生件数(平成21年111件、平成22年68件)については大幅に減少している。

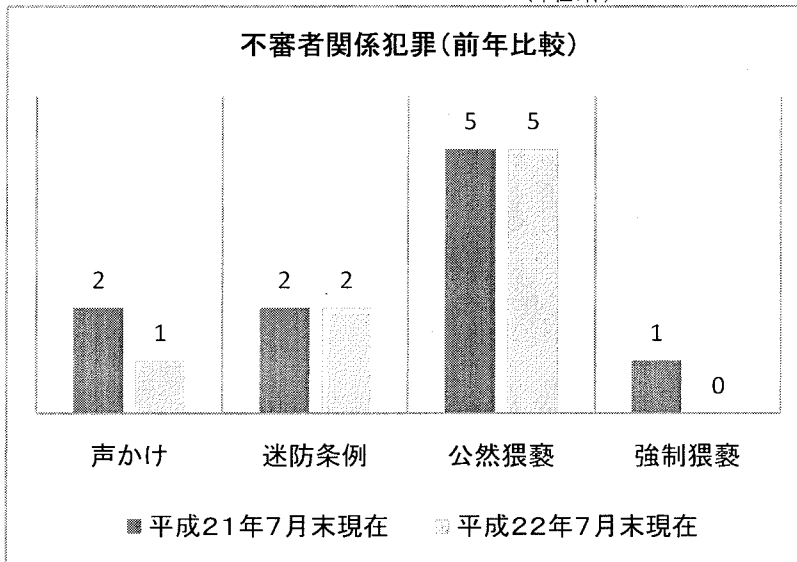
特に、自販機ねらいの減少が顕著であり、これは西濃地区で自販機ねらいを連続で敢行していた被疑者逮捕の影響が考えられる。

しかし、車上ねらいの発生は依然として多く、増加の傾向が見られる。(※平成22年5月に海津警察署が連続車上ねらい犯人を逮捕)

海津警察署管内不審者関係犯罪発生状況

	声かけ	迷防条例	公然猥褻	強制猥褻	合計
平成21年7月末現在	2	2	5	1	10
平成22年7月末現在	1	2	5	0	8
合計	3	4	10	1	18

(単位:件)

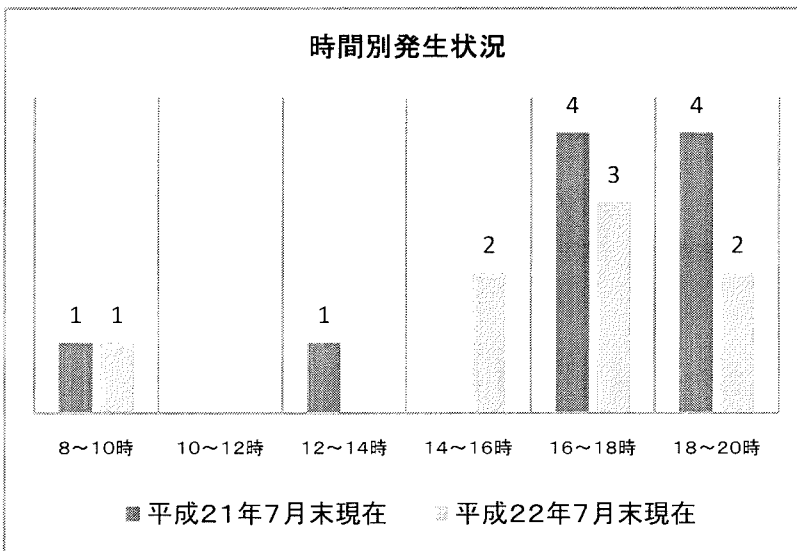


平成21年、平成22年における発生状況を比較してもその傾向に大きな違いはない。

種別としては、公然猥褻の発生が全体の約5割を占める。

公然猥褻の被害は、登下校中の生徒が、夕方薄暗い裏路地や、人通りの少ない場所において被害に遭うケースが多い。

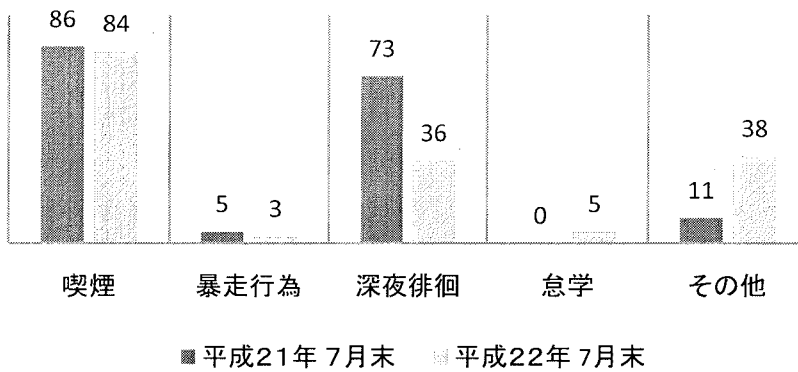
時間帯別発生状況						
	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時
平成21年7月末現在	1		1		4	4
平成22年7月末現在	1			2	3	2
合計	2		1	2	7	6



時間帯別の発生状況については、その多くが学生の下校時間帯といえる夕方に発生している状況が見受けられる。(※平成22年6月海津警察署が迷防条例違反被疑者検挙)

海津警察署管内少年非行概況

不良行為少年(補導)前年同期比較



不良行為少年		
	平成21年 7月末	平成22年 7月末
喫煙	86	84
暴走行為	5	3
深夜徘徊	73	36
怠学	0	5
その他	11	38
合計	175	166

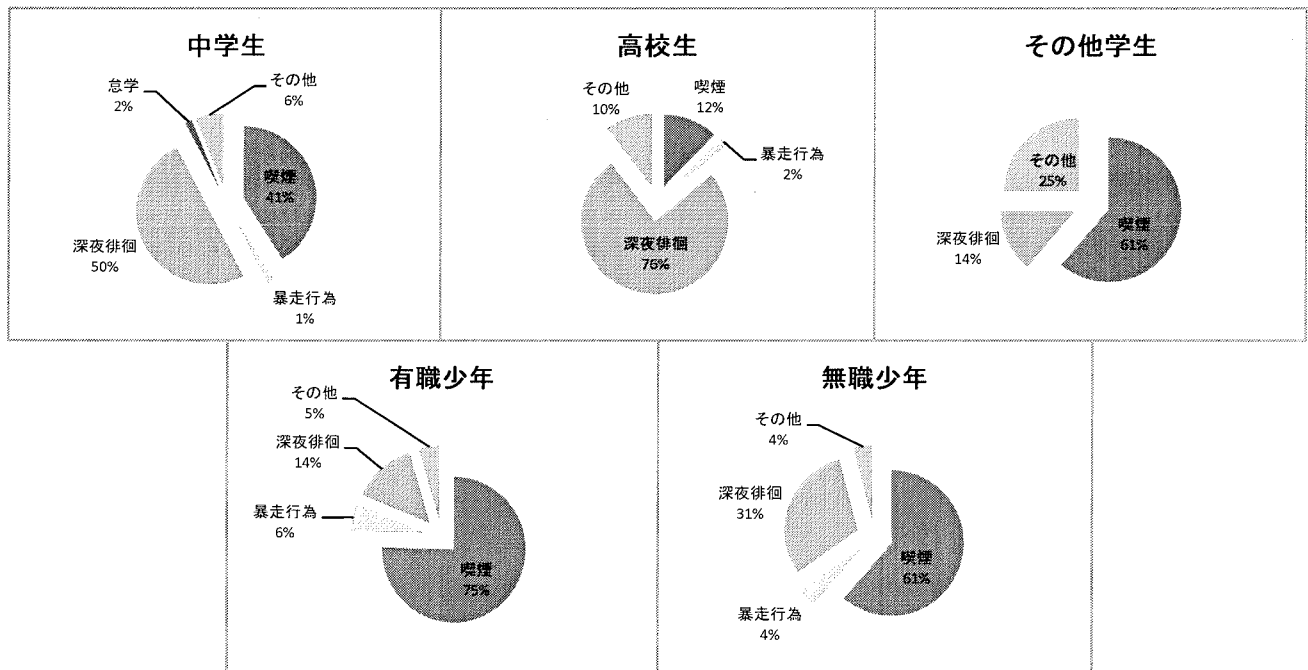
不良行為少年について、平成21年、平成22年の7月末現在について比較すると、総数においては若干の減少傾向が見られる。

不良行為については「喫煙」「深夜はいかい」が全体の半数以上を占めている。

平成21年中不良行為少年

	小学生以下	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	合計
喫煙		27	20	22	117	60	246
暴走行為		1	3		9	4	17
深夜徘徊		33	126	5	22	30	216
怠学		1					1
その他	1	4	17	9	7	4	42
合計	1	66	166	36	155	98	522

平成21年中の不良行為少年を学職別に比較すると、高校生の深夜はいかい、有職少年の喫煙が際だって多い。



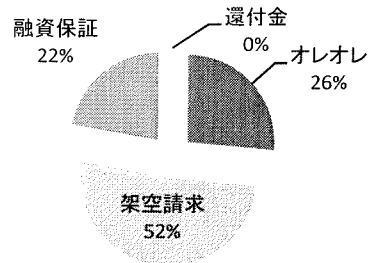
平成21年中刑法犯少年						
	小学生以下	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年
侵入窃盗						
乗り物盗			1		1	2
万引き			5		1	
その他					1	1
合計			6		3	3

平成21年中に検挙された刑法犯少年を学職別に比較すると、高校生による万引きが多い。

振り込め詐欺認知状況

平成21年中認知状況						
県下全署			うち海津警察署管内		全国認知状況	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
オレオレ	37	30,300,000	0	0	3,057	5,202,663,725
架空請求	72	102,146,761	0	0	2,493	3,182,296,949
融資保証	31	30,238,542	2	803,000	1,491	949,759,965
還付金	0	0	0	0	299	244,401,419
合計	140	162,685,303	2	803,000	7,340	9,579,122,058

平成21年中県下認知状況

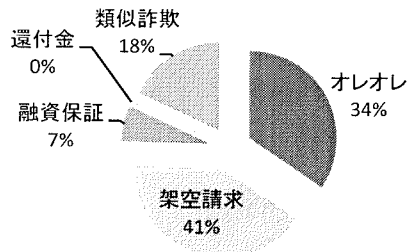


平成21年中の県下における振り込め詐欺認知件数は140件で、その被害額の合計は1億6千万円を超えた。

被害の多くは架空請求詐欺であり、全体の過半数を占める。(※還付金等詐欺の手口は平成20年をピークに激減し、平成21年では県下での認知件数は0であった。)

平成22年7月末現在認知状況				
県下全署			うち海津警察署管内	
	件数	被害金額	件数	被害金額
オレオレ	21	4,500,000	0	0
架空請求	25	36,187,197	2	1,892,597
融資保証	4	2,066,930	0	0
還付金	0	0	0	0
類似詐欺	11	44,976,000	0	0
合計	61	42,754,127	2	1,892,597

平成22年7月末現在県下認知状況



平成22年7月末現在におけるいわゆる「振り込め詐欺」の認知件数は県下で50件であるが、これまでにない新しい手口の詐欺(類似詐欺)の発生が認知されている。(例:警察官等を騙ったカード回収型等)

その類似詐欺の認知件数は増加の傾向を見せており、現時点では全体の2割弱であるが、今後被害の拡大が懸念される。